

令和3年度 自己評価結果公表シート

認定こども園フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびいきいきした保育の中で、未来を担う、「心」「知」「体」を育成します。
 「心」友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
 「知」自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
 「体」「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画の見直し	コロナ禍であり活動も思うように進められませんが、各先生方が指導計画を見直しながら、新しいやり方や工夫のある保育へつなげることができた。
職員の協力体制及び仕事の効率化と働きやすい環境づくり	良質な保育を提供しようとする反面、保育準備等に時間がかからないように、作業的な業務については非常勤の先生方に応援の依頼をするなど業務の内容の見直しと改善を行い、仕事の効率化と会議や打ち合わせは工夫しながら計画的に実施し、時間短縮につなげることができた。
行事の遂行	教育活動で必要な行事については、関係機関からの指導に従うと共に、感染防止を徹底し、創意工夫しながら実施できるように努めた。
感染対策	職員・園児の毎日の検温、手洗い、消毒を行い、また、園内や玩具・遊具もこまめに消毒し、より衛生管理を意識し感染拡大防止と来園者にも検温や健康チェックを行い、園児・保護者・教員の安全を確保することができた。
子育て支援	地域の未就園児と保護者が保育者と関われる場は提供できたが、園庭開放についてはコロナ感染拡大防止のため実施することはできなかった。
特別支援教育	個別の指導計画は、行政機関・保護者・園と相談しながら作成し、保育活動に活用することができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達の良い援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

評 価 項 目	取 組 状 況
教職員の資質向上を図る	自己の指導力向上のため、園内外の研修会に積極的に参加すると共に、その研修成果を日々の保育に生かせるように努める。また、園で独自に定める研修受講ポイント数を上回るように努める。
新任保育教諭の育成	新任保育教諭の育成を目指し、主幹保育教諭・学年主任を中心として実践力向上に向け丁寧な指導を心がける。また、常に支援できる体制作りと精神面でも支えていけるように努める。
子育て支援	子育て支援活動の一環として行っている「フレンドクラブ」の活動内容を検討すると共に保護者アンケートなども行い、さらに充実したものになるよう努める。また、コロナ禍で2年間中止していた、地域の未就園児を対象とした、「園庭開放」、「親子教室」などを感染予防を行いながら、親子で楽しく触れ合える機会と場を提供できるよう努める。
安全管理	安全管理マニュアルの見直しと整備を行い、管理下での園児への安全教育を強化する。緊急時の対応策について、全教職員で研修等を定期的の実施する。また、関係機関とも連携を密にする。
保育園との連携	同法人の西保育園との連携を深めるように努める。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。